みなみおぐに

議会だより

平成30年8月
第111号

平成30年6月定例会 2～3
29年度・30年度補正予算、条例改正、固定資産評価委員の任命同意等

一般質問 4～9
町政を問う

広報調査特別委員会研修報告 9
鹿児島県東串良町

議会日誌・編集後記 10

がんばってます！きよらカァサの職員の皆さん

平成30年6月　第2回定例会

平成30年第2回定例会が6月12日から14日までの3日間開かれた。一般質問には6人が登壇し、町長の施策を質した。平成30年度一般・特別会計補正予算書をはじめ、平成29年度一般会計・特別会計補正予算書の専決処分の報告、条例の制定・改正、固定資産評価審査委員会委員の任命同意などが審議された。この定例会では、23議案が提出され、慎重な審議の結果、22議案が可決・同意となり、1議案が委員会付託となった。

●補正予算

一般会計補正予算書（第3号）

関係人口創出事業事務委託費　668万円
コミュニティ助成事業補助金　130万円
住基ネットシステム改修業務委託料　191万円
台風3号及び梅雨前線豪雨災害見舞金　113万円
治山工事　1000万円
消防団員消耗品費　271万円
その他合計で4457万円の増額

原案可決

国民健康保険特別会計補正予算書（第1号）

国民健康保険システム改修12万円を増額

原案可決

介護保険特別会計補正予算書（第1号）

介護システムサポート業務委託等合計で53万円を増額

原案可決

水道事業特別会計補正予算書（第1号）

配水管布設替工事設計業務委託料等合計で401万円を増額

原案可決

農業集落排水事業特別会計補正予算書（第1号）

農業排水総務費の人件費14万円を増額

原案可決

公共下水道事業特別会計補正予算書（第1号）

下水道維持費の修繕料等合計で106万円を増額

原案可決

●条例の改正

▼南小国町黒川温泉駐車場の設置及び管理に関する条例の制定について

総務・文教常任委員会付託（委員長報告）

原案可決

●条例改正

▼一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

原案可決

▼地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

原案可決

▼家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

原案可決

▼放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

原案可決

▼特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

原案可決

●報　告

▼南小国町国民保護計画の変更について

承　認

●議員発議

▼阿蘇の世界文化遺産登録に向けた「阿蘇地域の文化的景観を守り、次世代に継承する」ための決議書について

原案可決

●陳　情

▼動馬喜集落内利用道路の町道認可及び道路整備について

経済建設常任委員会付託

▼南小国町固定資産評価審査委員会委員の任命同意について

波居原下　大塚　喜久氏

同　意

●報　告

平成29年度　繰越明許費繰越計算書（平成29年度予算を繰越し、平成30年度に実施するもので主な事業を掲載）

一般会計

（単位：千円）

事　業　名	金　額	翌年度繰越額	左の財源内訳				
			既収入特定財源	未収入特定財源			一般財源
				国庫支出金	町　債	その他	
黒川地区環境整備事業	153,740	122,776		59,460	59,900		3,416
通知カード・個人番号カード関連事務委託交付金	415	415		415			0
南小国町総合物産館きよらカアサ遊具施設設置工事	9,000	8,739	8,739				0
平成29年度林地崩壊防止事業	33,000	33,000		17,664	2,900	2,824	9,612
道路維持工事（単独事業）	5,500	5,500					5,500
道路法面防災工事測量設計業務（単独事業）	24,467	24,467					24,467
南小国町災害廃棄物処理事業	46,767	23,082		11,541	11,500		41
旧満願寺公民館跡地整備工事	5,282	5,282					5,282
平成29年発生農地等災害復旧事業（現年災）	200,000	195,219		116,643		2,680	75,896
平成28年発生農地等災害復旧事業（過年災）中原中井手災害復旧工事	200,000	200,000		97,230		1,180	101,590
平成29年度現年林道災害復旧事業	20,000	20,000		16,781	500		2,719
平成29年度公共土木施設災害復旧事業	170,000	170,000		136,934	16,500		16,566

水道事業特別会計

（単位：千円）

事　業　名	金　額	翌年度繰越額	左の財源内訳				
			既収入特定財源	未収入特定財源			一般財源
				国庫支出金	町　債	その他	
水道資材倉庫設置	3,500	3,500					3,500

公共下水道事業特別会計

（単位：千円）

事　業　名	金　額	翌年度繰越額	左の財源内訳				
			既収入特定財源	未収入特定財源			一般財源
				国庫支出金	町　債	その他	
公共下水道事業	48,423	29,677		9,400	18,800		1,477

●報　告

平成29年度　事故繰越繰越計算書（平成29年度予算を繰越し、平成30年度に実施するもので主な事業を掲載）

一般会計

（単位：千円）

事　業　名	金　額	翌年度繰越額	左の財源内訳				
			既収入特定財源	未収入特定財源			一般財源
				国庫支出金	町　債	その他	
町道満願寺扇線道路改良工事（単独事業）	12,039	12,039					12,039
平成28年度現年林道災害復旧事業（林道瀬戸ノ口線災害復旧工事）	12,906	9,006		5,480			3,526

●町長専決処分の報告並びにその承認を求めることについて

平成29年度一般会計補正予算書（第11号）

「日本で最も美しい村」づくり補助金　他987万円を減額

承認

平成29年度水道事業特別会計補正予算書（第7号）

財源組替のため補正額0円

承認

平成30年度一般会計補正予算書（第2号）

保育園コピー機リースの債務負担行為を1万円増額

承認

▼南小国町税条例の一部を改正する条例について

承認

▼南小国町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

承認

消防団の現状と今後の課題について

矢津田　道夫　議員

▼議員

本町では団長はじめ団員251名で活動に当っているが、分団内での数の減少が見られ、活動に支障をきたす分団があると見受けられる。しかし今後も団員が増える可能性はあまり見込めず、分団内の統廃合を考える時期に来ているのではと思うが町長の考えをお聞きする。

●町長

条例定数が251名で実団員数が232名、そのうち機能別団員が8名含まれており、19名不足している状況。今後消防団員の増員は厳しいと思われ、機能別分団員の協力をお願いしたい。今後は分団内の統廃合を検討していくことも必要と考える。また女性の消防団員の検討も必要ではないかと考える。

▼議員

消防団員はいろいろな職種で仕事の傍らで昼間町外に出ていく方が結構いると思うが、役場内に機動分団を置き、昼間だけでも職員が初期活動に出れば、その間に団員が帰って来れる態勢になると思うが町長の考えはいかがか。

●町長

役場に関しては最初に情報が入ってくる場所で、現在も業務に支障がない限りは、ほとんどの職員が出動するというような状況にはなっており、今の状況で進めて行ければと考えている。

▼議員

もし半分以上の方が町外で働き昼間は出られないということであれば、職員の機動分団をつくったら住民も安心するのではないか。

●総務課長

団員数232名のうち、昼間町内外で仕事をしている方が何名いるかの調査は行っていないが、もし火事等が発生した場合、非常に大事な人数把握にもつながると思うので、今後調査を行い組織のあり方についても検討したい。

阿蘇郡消防操法大会に向け、練習に励む消防団員

南小国版 DMO について

荒井　邦生　議員

▼議員

南小国版ＤＭＯが、７月１日に発足するとの噂を聞いたが、どのように運営していくのか、また組織系統は、どのようになったかお聞きする。南小国版ＤＭＯについては、まだ理解されていない方や、町民説明等も開かれていないが、今後の住民説明や、資金面の動きや損失が出た場合の補償はだれがするのか詳しくお尋ねする。

●町長

本町の人口は人口問題研究所の推計によると、２０６０年の人口は２，４００人程度まで減少するとされている。担い手不足による町内産業の衰退が大きな問題になっている現状にあって、地域経済の底上げが喫緊の課題であり「南小国町まち・ひと・しごと創生総合戦略」にも南小国版ＤＭＯの設立、運営として位置付けられている。昨年12月に南小国版ＤＭＯの設立を表明し、設立委員会を設置、観光業、農林業、町内各産業の関係者や町議会議員、役場職員等に就任いただき、多様な当事者による合意型形成を目指し、議論を重ね、本年７月に㈱きよらカアサを母体として、㈱ＳＭＯ南小国を発足させることとした。財源については、２年間は国の地方創生推進交付金を活用した補助金により活動を支援することにしている。また経営が安定するため設立後、数年間は観光協会への補助金及びきよらカアサへの委託料は数年間確保しておくことを想定している。

経営責任についても明確化し、様々な危機的状況にも的確に対応できるような組織となるよう経営体制の強化に努めてまいります。この活動については地域住民の皆様のご協力が必要ですので、ケーブルテレビによる説明やオープニングイベントなどを実施、町民への説明も行ってまいります。

地元野菜のいろどりビュッフェ

南小国版 DMO “SMO” 設立イベントが行われた。（７月１日　於：きよらカアサ）

町の草原、牧野の保全は？

穴井　則之　議員

▼議員

牛馬の飼育とその減少、それを管理する牧野組合員の減少は今後この草原を管理するに当たって非常に危機感を覚える。町として、草原の保全対策をどのように考えるか町長に聞く。

●町長

本町の雄大な草原、原野は世界農業遺産の認定を受けて以降、世界的な価値を有している。これまで多くの牧野組合員の方々の労力により維持されていることに心から敬意を払いたい。国庫補助事業である中山間地域等、直接支払制度を利用し、27牧野団体へ年間2，775万1，698円の交付金を行い、輪地押しや野焼きの費用としている。人的支援としてグリーンストックによるボランティア支援が29年度に延べ250人のご支援をいただく。また草原と畜産は適正な維持管理と保全に密接に関連していることから、母牛導入、予防接種について、年間741万5，000円の補助を行っている。南小国町放牧推進協議会では畜産における低コスト化を行うため、周年放牧の実証実験が関係機関等と一緒に進めている。また、新たな草原の利活用として複合的な方法を模索している。

▼議員

町にとって、草原の役割をどのように考えているか。

●町長

景観として大変素晴らしく、地下水を育み、私達が生きていく営みを作り出している。また、町の誇りと考えている。

▼議員

草原、牧野、観光を点ではなく、線ととらえる。牧柵を整備すれば放牧を希望する有畜農家、中山間地事業で5年毎の見直しのたびに組合員が減少している。牧野の中の山林をどこかに寄せる。

●農林課長

昨年、ある牧野団体が観光客、県とツアーのような企画をして南小国町の草原がいい風景と草泊りの実体験をされた。山林を寄せるというのは検討する。

●町長

牧野の中の山林の簡素化については阿蘇市の事例を踏まえ考える。

雄大な草原はこのままでよいのか？

自伐型林業の促進について

穴井　千秋　議員

▼議員

自伐型林業の山林保有者が当町にいるが、危険を伴い、少ないのが現状です。そこで、移住・定住者を募集し、自伐林業と併せて行えば、担い手不足等が解消される気がするが、町の考えを聞きたい。

●町長

現在、国会で森林経営管理法案が進められ、来年度から新たな森林管理システムが開発される、経営管理の債務ができない山林、意欲と能力が有る経営者に区分し、町が積極的に関与し、意向調査等を実施し推進していく。

本町では、人工林面積の4割から5割（約5,000㌶）が想定される。担い手の確保・育成、移住・定住者の育成は、阿蘇地域林業担い手対策協議会等と、いっそう連携し育成を進めていきたい。

▼議員

自伐林業のは、山林を離れず、継続的な管理経営し永続的に責任を持つのが根本的な考えです。森林管理システムが促進するとすれば、役場内の組織の再編成を考える必要があるのでは。町長のご意見を伺う。

●町長

組織の再編となれば、職員の配置、人員が必要になるし、新設課ともなれば尚更人員の問題が有る。基幹産業なのでいろんな面から協議したい。

▼議員

町は今、いろんな施策を行っている。それは定住者を増やしたいとの思いだと思う。自伐林業の取り組みに、有識者、経験者の意見も取り入れ、林業の振興を考えて貰いたい。移住・定住の住宅の問題もある。跡地利用や分譲住宅の建設も必要になるのではないか。

●町長

住居問題は大切だ。今後民間の賃貸住宅の促進を促す策を考えたい。

木材切り出しの風景

高齢者対策を問う

後藤　六男　議員

▼議員

昨年10月産交バス2路線を廃止して、高齢者等が利用できる南小国町タクシー利用費助成事業をスタートさせ、12月からは買い物弱者対策としてきよらカァサによる移動販売サービスを始めたのは改革の一歩として評価する。町民の4割になろうとしている高齢者問題の現状と対策について伺う。

●町長

本年5月末時点65歳以上の方は1，547人、高齢化率37・7パーセントになっている。介護保険の要介護1、2の認定率22・6パーセントは県下でも上位の認定率。町では今年3月「第2期地域福祉総合実践計画」を策定した。3つの柱として、地域支えあい活動の推進、人材育成と福祉文化の醸成、役場、社協、関係機関の一層の連携を行う。又、今年度から管理栄養士の資格を持つ職員を採用したので食の観点からの健康指導を進める。

毎週火曜日に満願寺公民館分館で行われている「いきいき百歳体操」

▼議員

町内で4～5年前、店舗から国道に進入するのを誤り、歩道の電柱に激突して高齢運転者が亡くなった。アクセルとブレーキの踏み間違い事故が全国で年間5，000件から7，000件くらい発生していると聞く。この事故防止に効果があるワンペダルを設置する費用が1台の車20万の補助してもらいたい。岡山県の自治体で補助をしていると聞く。

体操の後はみんなでお茶。この日は七夕飾りを作っていました。

●町長

現時点ではタクシーの助成事業をしっかり進めたい。実施している自治体があるというのは参考にしながら判断したい。

▼議員

健康増進施設を整備し、独居老人対策として4～5人同居で空き家を有効活用するという案はどうか？

●福祉課長

健康増進のために現在8ヶ所で100歳体操やっている。独居老人対策は困難な状況である。今後の課題とする。

●町長

高齢者専用住宅の検討を担当課としたい。健康寿命を伸ばす体制づくりをしたい。

農業・森林公社の設立を！
職員の再任制度を！

井上　則臣　議員

▼議員

町の経済自立、労働人口、次世代の担い手を考慮すると、農業公社・林業公社を設立する時期が来ていると思うが、町長の農林業に対する考えを伺いたい。

●町長

世界農業遺産の活用による農業の活性化、農業集積等による地域営農組織の育成、次世代の担い手の確保と支援体制の強化が有る。

林業においても同様なことが言えるが、過去の経緯の中で同様な事例があったが、諸事情により解散した。

今後、本町の重要な基盤産業である農林業を活性化することは最重要な課題と積極的に取り組んでいく。

▼議員

我が国の国土の45％を僅か一千万人近くの人々が守っているのが現状の現在、森林環境税などを活用し、町が芯と成って、農業公社・森林公社を設立してグローバル化に対応出来る体制を執っていただきたい。

●町長

当町の、美しい里山をいかにして次世代へと繋いで行くかが私達の役目であり、それぞれをしっかり自立させたいので、今後積極的に取り組んで行く。

▼議員

町ではいろんなプロジェクトを立ち上げているが、担当職員の仕事量と継続的な責任を考えると、再任制度が実行されるべきと思うが伺いたい。

●町長

再任制度については、現在嘱託職員としてお願いしている。

再任用として採用すると、定数に含まれるために新規職員の採用が減り、人件費の高騰につながるので、嘱託職員で行きたい。

広報調査特別委員会研修報告

委員長　河津　利明

広報調査特別委員会は、6月28、29日の日程で鹿児島県東串良町へ視察研修を行った。東串良町は大隅半島の東、志布志湾に面する人口約7，000人の町である。

研修では、双方の自己紹介のあと、さっそく議会だより編集について説明・意見交換をおこなった。東串良町の議会だよりは現在137号で南小国町より少し歴史が長い。編集方法には大きな違いはないと感じたが、全面カラーで20ページほどであること、町内の話題や町民の声が多く載せられている事には感心した。聞けば、編集委員は6名（定数10名）で一般質問の原稿は、発言した本人が作成するとのことで、編集委員はその他の紙面つくりに集中している。我が町の編集方法にもおおいに参考になると感じた。

この町は、海に面していることから、津波、防災対策にも力をいれており、研修後には津波避難タワーや防災センターを視察した。

発　行　**南　小　国　町　議　会**
編　集　**広報調査対策特別委員会**

〒869-2492
熊本県阿蘇郡南小国町赤馬場 143 番地
☎ 0967-42-1111㈹　FAX 0967-42-1122

7月4日に山口県平生町総務厚生委員会が、本町の庁舎建設整備について視察研修に訪れました。

平成30年　議長・議会日誌

5月	15	国道 57 号整備促進期成会総会
	15	中九州・地域高規格道路推進期成会総会
	22	熊本県町村議会議長研修会・臨時総会
	25	阿蘇地区保護司会通常総会
	28	町村議会議長・副議長研修会
	29	正副議長による県関係国会議員への要望
	30	赤馬場駐在所落成式
6月	5	議会運営委員会
	8	菊陽町議会定例会傍聴
	12～14	第 2 回定例会
	12	総務文教常任委員会
	14	広報調査対策特別委員会
	22	県庁阿蘇会総会
	24	滝室坂トンネル着工式
	25	小国地区防犯協会連合会総会
	27	町青少年健全育成会総会
	27	町人権教育推進協議会総会
7月	1	中原地区と上津江野田地区交流会
	4	山口県平生町行政視察来庁
	4	経済建設常任委員会
	9	町村議会常任委員長・議運長研修会
	11	社会を明るくする運動推進委員会
	17	市町村正副議長・常任委員長等研修会
	18	議員勉強会
	18	広報調査対策特別委員会
	19～20	全国森林環境税創設促進議員連盟定期総会
	23	第 3 回臨時会
	24	中九州・地域高規格道路促進期成会総会
	26	伊豆市議会行政視察
	27	広報調査対策特別委員会
	29	立岩水源祭り
8月	5	阿蘇郡市人権同和教育研究大会
	6	県町村議会正副議長研修会

編集後記

連日暑い日が続いています。今年の夏はまさに異常な気象状況です。西日本豪雨では広範な地域で、河川の氾濫や土砂崩れが発生し、亡くなられた方をはじめ大変な被害となりました。被災されたみなさんに心よりお見舞い申し上げます。

猛暑の日々が続く中で、毎日のように熱中症での被害も報道されています。南小国町も例外ではありません。十分な水分補給などの対策もし、1日1日を元気に乗り切っていきましょう。

（河津利明）

発行責任者
議　長　平野　昭夫
広報調査対策特別委員会
委員長　河津　利明
副委員長　井上　則臣
委　員　後藤　六男
委　員　児玉秀次郎